

関連する文献を探す

1 課題文献への態度を明確にする

与えられた課題を読んで、

- ① 自分が理解できなかったところ
- ② 「本当にそうだろうか」と疑問を持ったところ
- ③ 興味を持ってさらに詳しく調べてみたくなったところ
- ④ 「自分は賛成できない」と明確に反対意見を持ったところ

などがあつたはずですが、

まず、自分が①～④のどれに当てはまるか考えてみよう。はっきりしない場合は、周囲の人に読んでもらって議論するとよいでしょう。第三者の意見を聞いてみることは効果的です。

①の場合には、理解できなかった部分を詳しく、あるいはより初歩的なレベルから解説している本・論文（←これが「関連する文献」）を探しましょう。そして、理解できなかった部分を自分なりに説明し直してみよう。

理解したうえで初めて、②③④のような点が浮かんでくるはずです。

②の場合には、さらに(a)単にデータ・情報の信頼性や事実関係に疑問を持つ場合と、(b)著者の論理展開に疑問を持つ場合とに分かれるでしょう。(a)の場合、あなたが次に行う作業はデータの出所（←「関連する文献」）にあたって自分の目で確認することです。あるいは、他の個人・団体が似たようなデータ（←「関連する文献」）を収集・発表していれば、それと突き合わせてみるという手もあるでしょう。(b)の場合、あなたがすべきことは、著者の論理展開をひとつひとつフォローし、「論理の進め方に強引なところ・飛躍しているところはないか」とチェックして確かめることです。

ここで、「本当はそうでない・そうでなさそうだ」ということになる、「本当はどうなのか」を考えていくこととなります（これは次のステップ「拡張する」）。

③は、「大筋は理解できたが細かいところを詳しく確認しておきたい」というケースでしょう。まず、より詳しく勉強した結果を自分の言葉で、読み手に説明することを念頭にまとめましょう。また、それによって著者の主張が補強されるのか、あるいはむしろ疑問が呈されるのか、考えてみるとよいでしょう。「詳しく調べてみたらおかしい部分が見えてきた」というのは、よくあることです。

④の場合、まず(a)どの部分に、(b)なぜ賛成できないのかを明確にする必要があります。特に(b)は重要です。「自分の実感と合わないから」というのでは、単なる感想で終わってしまいます。また、単にあなたが著者の主張・論理展開を誤解しているだけという可能性もあります。そうならないためにも、まずはあなたが著者の主張・論理展開をどう理解したかを書いてみましょう。そのうえで、どの部分に賛同できないかを明確にしましょう。そして、賛同しないことを正当化するような本・論文（←「関連する文献」）をさがすのが、次のステップになります。

多くの人は①か③に当てはまるのではないのでしょうか。①や③をクリアすると、次に②や④が問題になってくるのだと思います。

2 どうやって「関連する文献」を探すのか

実は、ここがかなり時間・労力のかかる作業です。自分の目的にピッタリの本・論文に直線的にたどり着くことはまずありません。私達も、ひとつの論文を書くのに 20 本近くの論文にあたりますが、本当に参考にするのは（すみからすみまで読むのは）そのうちの 2～3 本です。

以下は関連文献をさがす具体的方法です。

基本

- (1) 課題文の「参考文献」に挙げられている本で、関係ありそうなものにあたる。
- (2) 明学図書館の検索システム MUSE でキーワード検索
- (3) アマゾン書店のウェブサイトでのキーワード検索 (<http://www.amazon.co.jp/>)

学術的・専門的な文献にあたりたい場合

- (4) 国立国会図書館の論文検索システム CiNii でキーワード検索
明学図書館ウェブサイトから「情報検索」→「データベース」→「雑誌記事・論文」
- (5) Google Scholar でキーワード検索 (<http://scholar.google.co.jp/schhp?hl=ja>)

関連する新聞記事を検索したい場合

明学図書館のウェブサイトから「情報検索」→「データベース」→「新聞・ニュース」
朝日・日経・毎日・読売各紙の記事をキーワード検索することができます。
なお、学外からアクセスするには MAIN アカウントが必要な場合もあります。

検索のコツ

キーワードは複数入れること。「格差」で Google 検索をしてみると、なんと 524 万件ヒットしました。
「格差 再分配」にすると、15 万件まで絞れます。
さらに、「格差 再分配 井堀利弘」では 29 件。これくらいならば全部目を通してみてもよいですね。

*「格差 再分配」のようにスペースを入れて単語を並列すると、『格差』かつ『再分配』で検索しろ』という命令になります。

3 今回の課題

- ・ 自分が①～④のどれにあてはまるのか明確にする。
- ・ その上で、上記の作業を行う。分量は特に指定しませんが、1 枚未満ということはないでしょう。
- ・ できるところまでやればよいです。
- ・ 参照した「関連する文献」のリストを作成する。
- ・ 締切 5 月 10 日(土) 午後 12 時。これまでと同様、メールで。

注意

「関連する文献」は通読する必要はありません。必要な部分だけ読めばよいのです。全部読んでいたら間に合わないでしょう。

図書館は 5/2 から 5/5 まで休館になります。連休前に行くようにしましょう。夜 8 時まで開いています(土曜日は夜 6 時まで)。白金ならば、夜 10 時まで開いています(土曜は夜 8 時)。

4/29(緑の日)は授業日なので開いています。

希望の本・論文がうまく見つからないときや、「地下書庫」と書いてあるときは、迷わずに図書館カウンターの方に訊いてしまいましょう。

白金図書館にある本を横浜に送ってもらうことができます(2 日程度)。横浜図書館のカウンターで手続きできます。